

九州で最も活発な火山地帯を探索

鹿児島県は、九州で最多数の活火山を有しており、自然や火山現象に興味のある人にとって魅力的な場所です。日本で最も活発な火山である桜島は、特に興味を引きます。この複合成層火山は、北岳、中岳、南岳の三つの火山から成ります。鹿児島市を訪れる人は、錦江湾の向こうのわずかな数キロ先に桜島を見つけることができます。

過去の火山活動の跡は鹿児島中で見られます。霧島連山には、韓国岳、新燃岳、御鉢をはじめとする火山が点在しています。一方、指宿市には、下部の堆積層とその上に乗る小さな中央火山からなる開聞岳と、池田湖、そして山岳地帯の山川地域があります。始良市の近くにある住吉池と米丸でも鹿児島県の過去の火山活動を垣間見ることができます。

鹿児島県の二つの半島の間にある錦江湾は、幅 25 キロメートルの始良カルデラが 22,000 年前に大規模な噴火で陥没し、海中に沈んで形成されました。深い湾と豊富な火山性堆積物は、陸と海の両方を豊かで肥沃にしました。鹿児島は、サツマイモ、黒豚、ウナギ、カツオ、カンパチ、ニシンなど、高品質で美味しい食品の産地として全国的に知られています。